

Myrmica rubra

(Linnaeus, 1758)

キイロクシケアリ

湿った草地にすむ気性の荒い赤いアリで、広がりのある多女王のコロニーで暮らし、イラクサに刺されたような痛みの針で巣を守ります。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

18-25 °C

巣の中



巣の湿度

50-70 %

巣の中



休眠

5-8 °C

10月 - 3月



結婚飛行

8月 - 9月

穏やかな天気



働きアリ

4-6 mm

どれも同じ大きさ



女王

5-7 mm

女王は複数



コロニーの規模

働きアリ10,000匹規模

成長速度：速い



脱走リスク

中程度

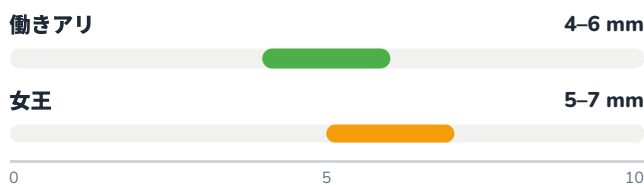
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ
- サンドイッチ型の巣

この評価の理由

- △ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- △ 半閉鎖型：創設中の女王に餌を与える必要があります
- △ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です
- △ コロニーが巨大になるため、広げられる余裕が必要です
- △ 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

巣は常に湿らせておきましょう。飼育者はこの種に石膏製の巣を好みます。乾きすぎるYtongのブロックは、水を張ったトレイの中に立てておくとうまくいき、アリは濡れた下側と乾いた上側を選べます。

注意

この種を死なせるのは、暑さと乾燥です。暖かい部屋や乾いた巣では突然大量に死ぬことがあるので、コロニーは家の中でいちばん涼しい場所に置き、貯水部分を空にしないでください。